

①ロボットプログラミング選手権 2026（病弱教育部門） 大会要項別途資料
大会要項 2025 からの変更点

- 各日付や締切日や期日、出場チーム数、主管校を今年度版に変更しました。
- 3.共催 に全国特別支援学校病弱教育教頭会の記述を加えました。
- 10. エントリー方法（必須項目）に 連絡先メールアドレス を加えました。
- 11.ロボットと土俵 【土俵】の欄に競技規定に載っていた図を載せ、わかりやすく
しました。
- 12.データの提出 ④技術賞及び特別賞記入用紙 の後 チーム紹介動画 を加えました。
- 14.全国大会 の部分に
 - ・入賞（優勝・準優勝・3 位）チームには、賞状・盾・メダルを授与する。
 - ・全対戦終了後、エキシビジョンマッチを行う。（※4）
を追記しました。
- 15.技術賞及び特別賞 の部分に
 - ・全国大会に出場したチームのうち、入賞チームを除いた中から技術賞及び特別賞を選考する。
を追記しました。
- 16.参加賞 の部分に
 - ・全国大会に出場したチームのうち、入賞チームを除いた中から技術賞及び特別賞を選考する。
を追記しました。

②ロボットプログラミング選手権 2026（病弱教育部門） 競技規定別途資料
ロボット相撲 競技規定 2025 からの変更点

1. 試合の方法

- (1) 1チーム1～3プログラム名で行う2チームの対戦とする。地区大会は最大3名、全国大会においては、最大6名まで選手（プログラム作成者）をエントリーできる。
なお、選手にはそれぞれ個別の登録名を付ける。1校から2チーム出場する場合も、同じ学校の選手はそれぞれ個別の登録名を付ける事とする（異なる選手を同じ登録名にすると、選手の人数を正確に把握できないため）。

○1. 試合の方法 についての部分で、参加賞の数の把握の関係もあることから、下線部の記述を加えました。

(4) 膠着状態と停滞状態

互いに組み合った状態または押し合いで、両ロボットが静止した状態が続くと判断した場合（以下「膠着状態」という）は、5秒以上続いたとき取り直しを行う。

また、相手ロボットの車輪を浮かせて5秒以上自力走行を不能にした場合、および相手ロボットの下に車体の一部を差し込み、相手ロボットの車体を浮かせて5秒以上自力走行を不能にした場合も膠着状態と判断し、取り直しを行うものとする。

互いに移動していても干渉しない状態が続くと判断した場合（以下「停滞状態」という）は、10秒以上続いたとき取り直しを行う。

○昨年度の反省より画面上では確認しづらいという理由で、5.対戦の勝敗から「足取り」「裾取り」の記述をなくし、4.対戦(4) 膠着状態と停滞状態の部分に下線部の記述を加えました。

③ Q&A 別途資料

○下記の質問に内容変更や追記を行いました。

Q9. 全国大会において、1つのプログラムを複数の作成者で登録できますか。

A9. 可能です。参加校の実態から、作成者の体調の影響や転出入が頻繁に行われるなど、1人で1つのプログラムを完成させる事が難しく、複数人の合作で作成する場合があります。

ただし、複数人で合作した場合は、戦術表のプログラム作成者名欄には代表者1名のみ記入をしてください。例えば、プログラムAに登録した場合、その他の作成者の氏名をプログラムBやCの作成者名に記入できません。同じプログラムをBやCに登録する事もできません。

賞状とメダルはその代表者1名にのみ授与します。なお、参加賞は作成者全員にお渡ししますので、その他の共同作成者がいる場合は、プログラムD・E・Fのいずれかに登録してください（全国大会は最大6名まで登録可能）。

地区大会は1チーム最大3名の登録となりますので、プログラムD・E・Fへの登録はできません。

Q14. プログラムを作成、研究する上で参考になる資料はありますか？

A14. 本大会の運営にご協力をいただいている富士ソフト株式会社様のホームページで、プロロのサンプルプログラムを公開してくださっています。

富士ソフト株式会社様ホームページ

<https://www.mirai-school.jp/proro/how-to/index.html>

また、同じく本大会の運営にご協力をいただいている株式会社アミテン様も、YouTube でプロロの使い方やプログラムの組み方等に関する動画を公開されています。

株式会社アミテン YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/@amiten_edu

④ データ作成の手引きについての資料に加えました。

こちらをご参考にしながら各大会のデータ提出をお願いします。